

News Letter vol.39 2012.4.9

UC Davis の紹介

派遣国名：アメリカ合衆国

受入機関：カリフォルニア大学デービス校

派遣期間：2011.12.28～2012.3.26

このたび私は、JSPS組織的な若手研究者等派遣プログラムの支援によりアメリカ合衆国 University of California at Davis (UC Davis) Department of Chemistry・Molecular and Cellular Biology 研究室に2011年12月下旬～2012年3月下旬まで滞在しました（図1）。

その間、タンパク質結晶のX線立体構造解析を学び、習得した技術を昆虫酵素群へ応用し、酵素による基質認識機構の立体構造学的解明について研究しました。短い期間でしたが酵素の全体構造を解明するに至り有意義な研究生活を送ることができました。

University of Californiaは、全部で10校から構成される公立大学です。構成大学は、Berkeley、Irvin、Los Angeles、Merced、Riverside、Santa Barbara、SantaCruz、San Diego、San FranciscoそしてDavisです。UC Davisは、農業専門学校として誕生しました。大学のニックネームは、「Aggie」で、Agricultureに由来します。畜産、獣医、農業分野は、大学を代表する存在です（図2）。

また、California wineの有名ワイナリーが多数存在するNapaそしてSonomaが近くwine醸造学・発酵学に力を入れており、多くの卒業生がCalifornia wine発酵、ブドウ栽培そして市場流通等の関連分野にて活躍しています。このため、UC Davisには世界中の国々からたくさんの学生、研究者が集まっています。彼らと話をすることで、各国の研究事情や研究に対する真摯な姿勢、そしてたくさんのアドバイスそして新たな発見を得ることができました。また留学生が多いためか、Davis市のDown townには日本食をはじめとする各国料理restaurantが揃っており、治安状況とあわせてとても住みやすい印象を受けました。

以上、UC Davisへ訪問する機会を与えていただいた本派遣事業に感謝申し上げます。最後になりましたが、ご支援いただきました所属研究室の方々、研究戦略係の藤原さん、そして関連スタッフの皆様に心から御礼申し上げます。



図1: Department of Chemistry 玄関前



図2: 大学構内のAnimal Center